

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和1年5月30日(2019.5.30)

【公表番号】特表2019-511064(P2019-511064A)

【公表日】平成31年4月18日(2019.4.18)

【年通号数】公開・登録公報2019-015

【出願番号】特願2018-551863(P2018-551863)

【国際特許分類】

G 06 F 21/62 (2013.01)

【F I】

G 06 F 21/62 3 4 5

【手続補正書】

【提出日】平成31年4月1日(2019.4.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アプリケーションに含まれるユーザ情報を隠すための方法であって：

アプリケーション内のメディアファイルの属性リストに対する操作権を取得するステップ(S 101)と；

前記アプリケーション内の前記メディアファイルの前記属性リストを読み取り、前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報を、前記メディアファイルの前記属性リストに書き込むステップ(S 102)と；

前記メディアファイルを再保存するステップ(S 103)と；を備える、

アプリケーションに含まれる情報を隠すための方法。

【請求項2】

前記ユーザ情報は取扱いに注意を要する秘密の情報を含む、

請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記アプリケーション内のメディアファイルの属性リストに対する操作権を取得するステップは：

前記アプリケーション内の前記メディアファイルのファイルハンドルを取得するステップと；

前記メディアファイルの前記ファイルハンドルを用いて、前記アプリケーション内の前記メディアファイルの前記属性リストに対する読み取り／書き込み許可を取得するステップと；を備える、

請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報を、前記メディアファイルの前記属性リストに書き込むステップは：

前記アプリケーション内で生成された前記ユーザ情報を、キー値ペアの形式で前記メディアファイルの前記属性リストに書き込むステップを備える、

請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記メディアファイルは、写真ファイル、音声ファイル、及び映像ファイルのいずれか

1つを含む、

請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記ユーザ情報は、暗号化されたユーザ情報である、

請求項1に記載の方法。

【請求項7】

前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報に対して論理処理を実行するステップを更に備え、

前記アプリケーション内の前記メディアファイルの前記属性リストを読み取り、前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報を、前記メディアファイルの前記属性リストに書き込むステップは、

前記アプリケーション内の前記メディアファイルの前記属性リストを読み取り、前記アプリケーション内の論理処理されるユーザ情報を、前記メディアファイルの前記属性リストに書き込むステップを備える、

請求項1乃至請求項6のいずれか1項に記載の方法。

【請求項8】

前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報に対して論理処理を実行するステップは：

前記アプリケーション内で生成された前記ユーザ情報に対して可逆的な論理処理を実行するステップを備える、

請求項7に記載の方法。

【請求項9】

前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報に対して論理処理を実行するステップは：

対称暗号アルゴリズムを用いて前記アプリケーション内で生成された前記ユーザ情報に対して対称暗号化処理を実行するステップを備える、

請求項7に記載の方法。

【請求項10】

異なるアプリケーションシナリオで生成されたユーザ情報を、異なるメディアファイルに書き込むステップと；

前記異なるメディアファイルを再保存するステップと；を更に備える、

請求項1乃至請求項9のいずれか1項に記載の方法。

【請求項11】

前記メディアファイルを再保存するステップは、前記メディアファイルを前記アプリケーションのインストールパスに格納するステップを備える、

請求項1乃至請求項10のいずれか1項に記載の方法。

【請求項12】

アプリケーションに含まれるユーザ情報を隠すためのデバイスであって、請求項1乃至請求項11のいずれか1項に記載の方法の動作を実行するように構成された複数のモジュールを備える、

アプリケーションに含まれるユーザ情報を隠すためのデバイス。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0078

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0078】

上述のものは本願の一実施形態に過ぎず、本願を限定するものではない。当業者は、本願に様々な修正及び変更を加えることができる。本願の主旨及び原理から逸脱せずに為されるあらゆる修正、均等物による代替、改善は、本願の特許請求の範囲に含まれるもので

ある。

以下、本発明の実施の態様の例を列挙する。

[第1の局面]

アプリケーションに含まれるユーザ情報を隠すための方法であって：

アプリケーション内のメディアファイルの属性リストに対する操作権を取得するステップと；

前記アプリケーション内の前記メディアファイルの前記属性リストを読み取り、前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報を、前記メディアファイルの前記属性リストに書き込むステップと；

前記メディアファイルを再保存するステップと；を備える、

アプリケーションに含まれる情報を隠すための方法。

[第2の局面]

前記ユーザ情報は取扱いに注意を要する秘密の情報を含む、

第1の局面に記載の方法。

[第3の局面]

前記アプリケーション内のメディアファイルの属性リストに対する操作権を取得する前記ステップは：

前記アプリケーション内の前記メディアファイルのファイルハンドルを取得するステップと；

前記メディアファイルの前記ファイルハンドルを用いて、前記アプリケーション内の前記メディアファイルの前記属性リストに対する読み取り／書き込み許可を取得するステップと；を備える、

第1の局面に記載の方法。

[第4の局面]

前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報を、前記メディアファイルの前記属性リストに書き込む前記ステップは：

前記アプリケーション内で生成された前記ユーザ情報を、キー値ペアの形式で前記メディアファイルの前記属性リストに書き込むステップを備える、

第1の局面に記載の方法。

[第5の局面]

前記メディアファイルは、写真ファイル、音声ファイル、及び映像ファイルを含む、

第1の局面に記載の方法。

[第6の局面]

前記ユーザ情報は、暗号化されたユーザ情報である、

第1の局面に記載の方法。

[第7の局面]

アプリケーションに含まれるユーザ情報を隠すための方法であって：

アプリケーション内のメディアファイルの属性リストに対する操作権を取得するステップと；

前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報に対して論理処理を実行するステップと；

前記アプリケーション内の前記メディアファイルの前記属性リストを読み取り、前記アプリケーション内の論理処理されるユーザ情報を前記メディアファイルの前記属性リストに書き込むステップと；

前記メディアファイルを再保存するステップと；を備える、

アプリケーションに含まれる情報を隠すための方法。

[第8の局面]

前記ユーザ情報は取扱いに注意を要する秘密の情報を含む、

第7の局面に記載の方法。

[第9の局面]

前記アプリケーション内のメディアファイルの属性リストに対する操作権を取得する前記ステップは：

前記アプリケーション内の前記メディアファイルのファイルハンドルを取得するステップと；

前記メディアファイルの前記ファイルハンドルを用いて、前記アプリケーション内の前記メディアファイルの前記属性リストに対する読み取り／書き込み許可を取得するステップと；を備える、

第7の局面に記載の方法。

[第10の局面]

前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報を前記メディアファイルの属性リストに書き込む前記ステップは：

前記アプリケーション内で生成された前記ユーザ情報を、キー値ペアの形式で前記メディアファイルの前記属性リストに書き込むステップを備える、

第7の局面に記載の方法。

[第11の局面]

前記メディアファイルは、写真ファイル、音声ファイル、及び映像ファイルを含む、

第7の局面に記載の方法。

[第12の局面]

前記ユーザ情報は、暗号化されたユーザ情報である、

第7の局面に記載の方法。

[第13の局面]

前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報に対して論理処理を実行する前記ステップは：

前記アプリケーション内で生成された前記ユーザ情報に対して可逆的な論理処理を実行するステップを備える、

第7の局面に記載の方法。

[第14の局面]

前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報に対して論理処理を実行する前記ステップは：

対称暗号アルゴリズムを用いて前記アプリケーション内で生成された前記ユーザ情報に対して対称暗号化処理を実行するステップを備える、

第7の局面に記載の方法。

[第15の局面]

アプリケーションに含まれるユーザ情報を隠すためのデバイスであって：

アプリケーション内のメディアファイルの属性リストに対する操作権を取得するように構成される取得モジュールと；

前記アプリケーション内の前記メディアファイルの前記属性リストを読み取り、前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報を前記メディアファイルの前記属性リストに書き込むように構成される読み取り／書き込みモジュールと；

前記メディアファイルを再保存するように構成される保存モジュールと；を備える、

アプリケーションに含まれるユーザ情報を隠すためのデバイス。

[第16の局面]

前記デバイスは：

前記アプリケーション内で生成された前記ユーザ情報をに対して論理処理を実行するように構成される論理処理モジュールを更に備える、

第15の局面に記載のデバイス。